

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	本庁舎等維持管理事業	担当課・係名	総務課公共施設係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	22
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	施設の適正な維持管理				
対象 (誰を・何を)	本庁舎、保健センター				
内容	日常的な清掃・電話交換業務、定期的な貯水槽清掃・エレベーター保守・電機工作物保守等の業務を委託して実施するとともに、施設の修繕・改修を行い、安全な施設を保持する				
根拠法令・条例等					
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	41,377	42,911	39,791
	国庫支出金	千円	997		
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	1,670	1,846	1,723
	一般財源	千円	38,710	41,065	38,068
	職員人数 (概算職員数)	人			0.49
	人件費計 (b)	千円			3,003
総事業費 (a)+(b)	千円	41,377	42,911	42,794	
事業費内訳	社会保険料12千円、臨時雇賃金859千円、消耗品費629千円、燃料費988千円、光熱水費10,000千円、修繕料2,608千円、通信運搬費8,700千円、手数料212千円、各種保守委託料1,653千円、本庁舎等保守管理委託料11,647千円、エレベーター保守委託料900千円、警備委託料75千円、放送受信料76千円、物品借上料1,300千円、町危険物安全協会負担金18千円、県高圧ガス協会負担金30千円、本庁舎建設基金利子積立金84千円				
H 25 年度					

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 維持管理費	円	41,377	41,534	39,791
	②				
活動指標 (活動量)	① 維持管理費	円	41,377	41,534	39,791
	②				
成果指標 (達成度等)	① 維持管理費	円	41,377	41,534	39,791
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	来庁者及び日常業務に支障がないよう施設を保持するため専門業者に委託している。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	保守管理業務において資格が必要な内容や実務経験なども条件としており手段はとして妥当と考える。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	来庁者及び日常業務に支障がない程度での施設の保持はなされているが、老朽化に伴う施設・設備の問題がある。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	施設・設備の老朽化が進んでいるため修繕・補修の経費が増加している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	日常清掃などの実施回数見直しや職員に節電等の呼びかけを行っている。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 来庁者及び日常業務に支障がない程度での施設の保持はなされているが、施設・設備の老朽化が進んでいるため修繕・補修の経費が増加してしまう。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
日常清掃などの実施回数見直しや電力調達入札の実施、照明器具のLED化（25年度実施）など可能な限りの経費削減に取り組む。
② 平成26年度に着手する事項
町所有の公共施設老朽化に対する今後の取り組みの中で他施設との複合化での建替え検討や今後の修繕計画の作成。
③ その他（課題、調整事項等）
施設・設備の老朽化が進んでいるため修繕・補修の経費が増加してしまう。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

本庁舎・保健センターも今後の公共施設のあり方や管理運営などに係る計画に含まれるため、大学教授等による講演や公共施設のマネジメントに係るPFI事業導入に向けた研修等を受け計画の作成を進めて行く。
--